

## 【11月14日（月）暴言・暴力・体罰のない学校に！】



元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

みなさんは、「暴言」や「暴力」という言葉を知っていますね。暴言とは、乱暴な言葉で相手を脅かしたり、相手の嫌がる言葉で悲しませたり、困らせたりすることです。暴力とは、相手を叩いたり蹴ったりして傷付けることです。

私たちのまわりにいる人たちと、考え方が違うからといって喧嘩ばかりしていたら楽しくないですね。ではどうすれば、みんなで仲よく楽しく過ごすことができるか考える場所が学校です。よいクラスやよい学校は、だれかが作って与えてくれるものではありません。クラスや学校のみんなが努力して作っていくものです。うまくいかないことがあっても、なぜうまくいかなかったのか、みんなで考え、よく話し合っ解決していくことが大切です。決して「暴言・暴力」では問題を解決することはできません。

さて、「暴言・暴力」は、子どもだけの問題ではありません。大人であっても、許されません。また、大人から子どもへの「暴言・暴力」が、「体罰」という形で行われることも、絶対にあってはいけないことです。「体罰」とは、暴力で罰を与えるという意味です。みなさんが、もし、良くないことをしたとき注意されることは仕方のないことですが、いきなり叩いたり蹴ったりされたら、なぜいけなかったのか言葉で言ってほしいと思いませんか。言葉で分かるように話してもらえれば、素直に反省することも謝ることもできるはずですが、でも、いきなり大きな声で怒られたり叩かれたりしたら、怖いという気持ちしか残らないでしょう。

学校で学ぶ時期は、良いことと良くないことをしっかりと学ぶための時期でもあります。だから、良くないことをした時にはきちんと叱られることも大切です。そして、きちんと叱ってもらえることはありがたいことだと思って、素直に反省し、正しい行動ができるようになってほしいと思います。しかし叱り方は、体罰ではなく、言葉で分からせるという方法であるべきです。学校でも家でも、体罰はいけません。もし、体罰で困っていたり、周りに困っている人がいたりしたら、すぐに周りの大人の人に相談してください。

教室でも「暴言・暴力」や「体罰」について担任の先生からお話があると思います。

よいクラスや学校にしていくために、みんなで真剣に考えていきましょう。

以上でお話を終わります。（礼）